

「とびだせ建築士」から伝える

「とびだせ建築士」というテーマの下、平成16年度から県内4カ所にある工業高校建築科の学生と建築見学会・WSやシンポジウムへの参加など、延べ15回開催。建築士がもっと社会と関わり、地位向上を目指しながら、子どもたちや建築を学ぶ生徒・学生に向けて、建築の面白さ、建築士の仕事ぶり等を伝え、将来の建築に携わる人材を育てると同時に我々もスキルアップし、地域社会に貢献することを活動の目的にしている。今後は対象の学生を広げ、未来の建築士・我々の仲間を育てると同時に、一般の方々に向けての「とびだせ建築士」も企画する予定。

●大会テーマ「伝」に沿って若者に建築・建築士会を「伝えていく」素晴らしい活動。●建築から人を育て組織を育てる再生の考え方が良い。●建築士会の将来に繋がる活動。自分たちも取り組みたい。●プレゼンテーションが素晴らしく、とても分かりやすかった。●継続して活動しているのが素晴らしい。●発表者一ぼっちゃんスタイルがとても印象に残った。



中予地区の活動(通算8回開催)
松山工業高校・松山聖陸高校建築科のみなさんを招き、歴史的建造物の見学会などを実施。昨年度は道後温泉本館(1890年竣工)の見学会を開催。



南予地区の活動(通算6回開催)
吉田高校建築科の皆さんと、作業所見学会・工場見学会・古建築に関わるシンポジウムの参加など。



東予地区の活動(通算2回開催)
東予高校建築科に出前授業を実施。建築士会メンバーによる「建築と私」の講演後、「建築といかにかわるべきか」のワークショップを実施。

「街角遺産 — the local heritage —」

香川県建築士会では、地域に残る「街角遺産」をリストアップし、企業や個人によるリノベーション・コンバージョン等への活用を促進する活動を行っている。「街角遺産」とは、文化財のような価値はないが、地域の景観と日常に溶け込んだ小建築を指す造語。「街角遺産」は古い何気ない建物の価値を一般化するシステムで、2011年度グッドデザイン賞を受賞。平成24年に選定した約120件の「街角遺産」写真を展示し、その後、毎年、香川県内各地で街角遺産展を開催。今年3月には、「第5回街角遺産展—小豆島編」を開催し、物件数も539件となっている。「地域」の特徴は古くからそこにある何気ない建物たちで作られており、その古い建物の価値を上げ、活用することで、循環型社会へ貢献すると共に、記憶のある街づくりを目指している。

●「まちかど遺産」という着想が良い。●日常に埋もれ、今まで意識していなかったものに意識を向けることで、未来の街並みに寄与することができる。●B級、C級という着想が好き。プレゼンテーションが素晴らしかった。●全国的なテーマに発展できそう。●一般の人との取り組みの事例として参考になった。自分たちの県でも取り組んでみたい。



香川県建築士会

MONTHLY 建築士
No.104

IROSHIMA



表紙写真について

トヨタカローラ広島・ネットトヨタ中国新本社

- 設計施工／鹿島建設（株）
- 所在地／広島市西区庚午中
- 構造規模／S造 地上6階
- 敷地面積／3,194.97 m²
- 建築面積／2,436.15 m²
- 延床面積／10,267.71 m²
- 竣工／2014年12月



トヨタカローラ広島とネットトヨタ中国の本社機能、開放的な中古車店舗・展示場、整備工場、社員駐車場といった多様な機能を内包する建物として、2008年に竣工した新車店舗の隣接敷地に計画された。

交通量の多い宮島街道に接する下層部に展示場や駐車場を、住宅街のため周囲に高層建物がなく、北側の山並みや南側の海を臨むことができる上層部に本社機能を配置する空間構成とした。

幅50mにおよぶ正面のファサードは、設えをフロアごとの機能に応じて変化させた表層を奥行4mの門型フレームで囲うことで、シンプルながら本社としての顔を力強く表現することを目指した。



ふるじえくと PROJECT NEWS ニュース

平成27年度 第1回 建研塾研修会の開催

東広島支部

「新しい漆喰壁（瀬戸漆喰）の特徴と効果について」をテーマにした、今年度第1回目の建研塾研修会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

- ◆開催日時 9月6日(日) 午後1時半～3時
- ◆場所 下見福祉会館 (東広島市西条下見5丁目4番8号)
- ◆講師 (株)建築舎 代表取締役 佐藤 陽一氏

平成27年度 中四国ブロック若手建築士交流会 in 山口

社会活動委員会 青年部会

山口県では平成30年の「明治維新150年」に向け、幕末維新をテーマに総合キャンペーンを全県で展開しています。今年の若手建築士交流会は、維新志士も駆け抜けた歴史の道「萩往還」の散策などを通して、下関のフグや岩国の錦帯橋、萩の歴史的町並みなど、新たな山口

を発見し、山口の食や温泉・歴史文化などの魅力を体感する企画が盛りだくさんです。



瑠璃光寺



中原中也記念館

- ◆主催 中四国ブロック青年建築士協議会
- ◆主管 山口県建築士会青年部
- ◆開催日

9月26日(土)

- 開会式
- 交流会／瑠璃光寺見学→萩往還散策(天花坂口～国境の碑)→萩市佐々並市伝建地区見学
- 懇親会

9月27日(日)

- 自由散策／湯田温泉周辺、一の坂・瑠璃光寺
- オプションコース
 - Aコース 山口の伝統工芸である大内塗り箸造り体験
 - Bコース 瑠璃光寺五重塔の吹き替えを手掛ける松皮職人さんによる、檜皮葺ワークショップ

《お詫びと訂正》

(株)広島建築住宅センター

代表取締役社長 生田 文雄

〒730-0013 広島市中区八丁堀
15-10-3F
☎082-228-2220
http://www.hkjc.co.jp

7月号17P賛助会員の(株)広島建築住宅センター様のご紹介を訂正させていただきます。

CPD認定プログラム(8月～9月の広島県内実施分)

7月21日現在

日時	プログラム名	単位	主催	連絡先
8/7	建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工事改定講習会	5	日本建築学会中国支部	082-243-6605
8/7	専門工事業(内装仕上工事) 従事者教育特別講習会	3	公共建築協会	03-3523-0381
8/7	27年度電力負荷平準化・省エネルギー社会実現セミナー(広島)	3	ヒートポンプ・蓄熱センター	03-5643-2403
8/19	「2015年版建築物の構造関係技術基準解説書」講習会	5	日本建築防災協会	03-5512-6451
8/21	コンクリート構造物の劣化と維持・補修に関する知識	6	インターウェーブ	099-812-0677
8/27	技術セミナー(広島)	3	空気調和・衛生工学会	03-3363-8261
8/29	ペアガラス製造工程見学と機能ガラスの勉強会	2	広島県建築士会呉地区支部	0823-25-0230
9/6	身近な防災を楽しく学ぶ	2	広島県建築士会呉地区支部	0823-25-0230
9/9	研究会「地方におけるこれからの公立文化施設」(第2回)	4	日本大学工学部 川島慶之	urabe.moustache@gmail.com
9/15	IT活用による現場の業務効率化とコミュニケーション力アップ	6	インターウェーブ	099-812-0677
9/26	鋼構造セミナー「鉄骨工事の管理ポイント-工事現場溶接をメインとして」	2	広島工業大学 清水 齊	082-921-9420

「より早く・より公正に・より親切に」をモットーに
より確かなサービスを提供します

- 指定確認検査機関
- 登録住宅性能評価機関
- 指定構造計算適合性判定機関
- 登録建築物調査機関
- 適合証明業務(フラット35)
- 長期優良住宅認定審査業務
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 調査診断業務(耐震診断等)
- 耐震診断判定業務
- 住宅省エネラベル適合性評価業務
- 建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)評価業務
- すまい給付金関連業務



株式会社 ジェイ・イー・サポート

URL <http://www.jesupport.jp/>

本社 〒730-0029 広島市中区三川町7-1
TEL: 082-546-1378 FAX: 082-249-7190
支店: 東京
e-mail: mail@jesupport.jp

平成27年度 青年・女性建築士の集い中四国ブロック 広島大会

人から人 町から町 過去から未来「伝」 ～文化の遺伝子～

梅雨入りして間もない6月13・14日の2日間、心配していた天候にも恵まれ「平成27年度青年・女性建築士の集い中四国ブロック広島大会」を尾道で無事に開催することができました。

実行委員長 森川 順平

朝9時、広島県の青年・女性部会総勢50名が尾道に集結。この大会を成功させるべく円陣を組み、2日間の大会スタッフである“チーム広島”を結成しました。この団結は「歩いてさがそう 未来のまち」事業で培われ育まれた、協働の賜物であると感じました。

午前中は各担当に分かれ、予め準備していたシナリオ・マニュアルに基づいて大会の準備を行いました。

午前10時から港湾の駅前芝生広場で、プリズトンの免震体験車による大地震の揺れを体験。免震構法を備えた場合による揺れの違いも体験しました。参加者・観光客・市民の方々など140名に体験いただき、建築士会やこの大会をPRすることができました。

一方、大会会場の「しまなみ交流館」では、1年に1度会う中四国の会員たちの興奮と、パネル展に見入る来場者の熱気でいっぱいでした。

いよいよ13時から開会式です。湯崎英彦広島県知事、平谷祐宏尾道市長、高本訓司尾道市議会議員（代理・前田孝人産業建設委員会委員長）にご臨席賜り、開会宣言から綱領唱和へと続き、広島建築士会・元会長による挨拶、県知事と市長による本大会の趣旨を汲んだご祝辞

を頂戴し、大会1日目が始まりました。

私たちスタッフにとっては緊張の連続であった開会式も無事に終わり、次は中四国9県の青年・女性建築士による地域実践活動報告会です。各県で行った事業の成果や取り組みを5分で発表します。各県それぞれに、年々プレゼンテーション能力も上がり、同時に内容のレベルも高いものとなっていることを実感しました。

休憩と投票を挟み、本大会の趣旨「伝」に沿った基調講演が始まりました。尾道をこよなく愛する香本昌義氏と稲田全示氏、お2人の掛け合いにより、「おのみちで伝える」というテーマの下、2日目のフィールドワークにも繋がる内容でした。尾道の昔の写真や、時代により変わっていった地図と共に、参加者のみなさまの聴覚だけでなく視覚も刺激する講演になったと思います。



基調講演 講演テーマ「おのみちで伝える」

尾道支部 米田 雅治

稲田全示氏（尾道市立尾道大学芸術文化学部美術学科教授）と、香本昌義氏（長江中町内会「まちづくり研究会」代表）による基調講演が、地域実践活動報告会の後に行われました。講演の中で、尾道旧市街地南の向島にある岩屋山は古代の巨石信仰の聖地であったと思われること、尾道三山にある寺の正門や本堂が風水を基に岩屋山に向いて配置されており、特に千光寺本堂は冬至の日の出方向にも向いており、岩屋山とご来光が年に一度だけ一直線になるという話はミステリアスでした。

中世になり、尾道の北の太田の荘（現世羅町）が後白河院の院領となり、尾道はその年貢米の倉敷地となり、積み出し港として整備がされました。近世では北前船の寄港地となり始めたころから浜間屋と言われる豪商たちが現れ、幕末には莫大な財力を持っていたようです。明治に入りこれらの豪商が銀行を相次いで創設し、尾道は金融のまちとしても栄えます。そして山陽鉄道の開通により交通の要衝としてますます発展しますが、開通によ

る立退きで山手地区と海岸地区の分断が始まり、町の様相を一変することになります。立ち退いた民家は社寺の土地であった山手地区に住み始めることになり、さらに戦時中に防火帯として国道2号線の拡張等により、ますます山手に民家が増えたため、現在の坂の町ができたという、尾道の景観形成の歴史を分かりやすく軽快に解説していただきました。

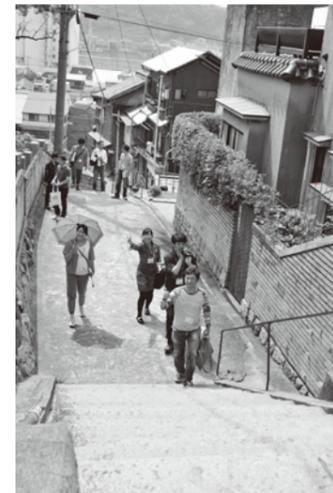
また、戦争末期に福山が空襲されたとき、浄土寺山の東の夜空が真っ赤になるのを震えながら見たこと。その後すぐに終戦となり、かろうじて尾道の街並みが残されたという香本氏の体験談は真に迫っていました。その後、戦前の古い街並みを残しながらの現在までのまちづくりの活動の話も、大変興味深く聞かせてもらいました。

古き良き日本の景観が残されている尾道は、日本遺産にも認定されました。この貴重な景観を未来にどのように残し伝えていけるかは、現代を生きる我々に課せられた責務であることを実感させられる貴重な講演会でした。

フィールドワーク「歩いて さがそう 未来の おのみち」

実行委員 助永 登志雄

このフィールドワークは、1日目の基調講演で尾道の歴史や文化を知識として感じてもらい、それを体で感じてもらうことを目的としています。スタート地点を2カ所に設定し、各スタート地点でレクチャー映像を見ていただいてから、大会用に作成したマップを参考に、「おのみち」を歩いていただきました。途中、予約ポイントでの見学を挟み午前中のフィールドワーク活動として行いました。



参加人数が多く、3組に分けてスタート。早い組は8時半集合でしたが、前日の疲れが残る中、まず皆さんにレクチャー資料を見ていただきました。この資料は広島県建築士会青年部・女性部が毎年各地域で行っている、「歩いて さがそう 未来のまち」事業で使用したものです。この事業はその町の過去を学び、現在を知り、得た知識で未来を考えることを目的に、子どもたちに「まち」を歩いてもらうというもの。子ども向けの資料ではありますが、尾道の歴史、現在、未来を考えてもらう資料という意味と、広島県建築士会青年部・女性部が7年間つないできた「遺伝子」を知ってもらう意味でも良い資料だったと思います。

終わりに

6月13日の大会参加者406名、14日のフィールドワーク参加者250名（実行委員会調べ）、総勢約650名の方々に大会に参加していただきました。これは中四国ブロック会員だけではなく、広島県建築士会7支部の会員の皆様も、「広島県の青年・女性部会を盛り上げちゃろう！」というお気持ちでお集まりくださったからだと身にしみて感じました。ご指導ご尽力いただいた皆様をはじめ、広島県、尾道市、パネル展参加団体、フィールドワークへご協力くださいました皆様、そして尾道の皆様にお礼申し上げます。

準備段階からこの大会の骨子である「伝」という意味を実行委員会内において深く考え、大切にしてきた

この事業では、クエストというタイトルで課題を設定していましたが、今回も新たに課題を作り、「まち」を歩くルートを考えてもらうことにより、目的をもってフィールドワークを行えるようにしました。またクエストとは別に、フィールドワークの中で予約ポイントを10カ所設定。近世（中世）建築から近代建築、NPOのプロジェクト物件、歓楽街の歴史の残るエリアなど、多様なポイントが設定できたのは、「おのみち」の文化の厚みがあればこそだと思います。各予約ポイントでは、行政、NPO団体、民間、教育機関などに講師を依頼し、解説を行っていただきました。1時間の解説時間を超えるものもあり、深く興味を持たれた方が多かったようです。

わずか半日のフィールドワークでしたが、「おのみち」の「文化の遺伝子」を体感してもらうことができたと思います。無事にフィールドワークを行えたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。



こともあり、「2日間を通して“文化の遺伝子”を伝えます」という大会テーマの言葉通り、尾道を例にした1つのまちの文化の遺伝子を参加者の皆様へ伝えられたと思います。青年・女性部会、OB、実行委員会の皆様、お疲れさまでした。



地域実践活動 発表 レポート

広報委員 神岡 千春

大会1日目ー7月16日(土)午後、「しまなみ交流ホール」で中四国9県の青年・女子部会による地域実践活動の発表が行われました。

『人から人 町から町 過去から未来「伝」～文化の遺伝子～』という大会テーマの下、各県5分の発表の後、審査員と会場の参加者による投票があり、1位に愛媛県建築士会、次点に香川県建築士会が選ばれました。1位の愛媛県建築士会は、10月の全国大会で中四国の代表として発表することになります。

ここでは、9県の地域実践活動の発表と、会場での感想コメントを紹介したいと思います。各県とも地域色あふれた素晴らしい活動です。地域実践活動の発表資料は、広島県建築士会のHPに掲載しています。http://den2015.com/20150615/

仕事が「地域実践活動」 建築士として設計・監理で地域実践



- 「仕事が地域貢献に直結する」というのは良い。
- 土地の物に自信と誇りを持ち、建築に活かしているところに建築の本質を感じた。
- 若手建築士の熱意を感じた。
- 仕事ー作品ーがカッコいい。

こども神輿による木のよさの伝承

徳島県
建築士会



徳島県建築士会川島地域会では、神輿の伝統的な継手や仕口、木の特徴や働きを学び、引いては伝統的な住まいについても伝えたいと、平成24年から毎年、こども神輿を寄贈・出前授業を行っている。組立図や部材を加工して学校に提供、授業では子どもたちがかんながけや神輿の組み立てを体験する。

- 地道な活動で継続に意味があり、努力を必要とする。子どもたちに分かりやすい神輿を取り上げているのが新鮮。
- 子どもたちが直接、木や技に触れ、建築を実感することは子どもたちの将来に良い影響を与えると思う。

建築セミナー with GAKUSEI

岡山県
建築士会



毎年数回、県下の建築を専攻する学生を対象に、県内外の建築物を対象としたミナーを開催。学生と同じ場所・時を共有する中で自らの研鑽を積むと同時に、建築に携わる若手がより具体的な将来像のイメージを持つきっかけ・手助けをすることで、建築業界の底上げの一端を担うことも意図している。

- 建築士の卵たちが大きく羽ばたいて行けるよう活動を広げてもらいたい。
- 丁寧な企画に関心した。
- 社会的価値観を生んでいる。

米子の町屋・街並み保存再生プロジェクト ～伝統を実証～

鳥取県
建築士会



平成25年、米子高専教員・学生、地域住民、NPO関係者、行政関係者などと、米子の町屋及び街並みの保存・再生を目的にプロジェクトを立ち上げ活動中。昨年は町屋の実態把握調査、今年は内部・実測調査を実施。今後は景山屋の一般公開や、昭和初期の洋館郵便局一角盤文庫の活用を行う予定。

- 非常に労力が必要な活動を継続的に進めていることに敬意を払いたい。
- 学生と連携し、地域資源を再確認し、後世に残そうとする取り組みが素晴らしい。
- 伝統を実証することがとても良い。
- 2,754件の調査に驚いた。

避難所HUGによる避難所計画

島根県
建築士会



東南海地震の脅威が高まる中、避難所HUGを活用・実践することで有事の際の避難所に事前に対応しておくことを建築士として考えています。対象として県東部の安木地区を選定し、地域の方々と避難所HUGによる避難所計画を策定。避難所HUGは、机上の避難所の運営を疑似体験する防災ゲームです。

- 「ゲーム」を使用して防災を身近にした点が良い。
- 建築士として地域に役立つことのできる活動である。
- 南海トラフ巨大地震が予測される中、避難に関する予備知識を広く伝えることは大事である。

関門地区景観ウォッチング&セミナー ～行政区分を越えて継続する活動～

山口県
建築士会



山口県・福岡県建築士会は、下関市・北九州市、大学、一般市民などと共に「関門地区景観ウォッチング&セミナー」を開催。関門地区の景観を守り・育て・語り・未来に継承していくことを目的としている。平成26年には、共催者である関門景観協議会より「引接寺ライトアップ社会実験」業務を受託。

- 県を越えて取り組みの着想が良い。
- 市民・建築士・行政が同じ視点を持って街の活性化に取り組んでいるのが素晴らしい。
- 継続10年、なかなかできない。
- ボリュームのある内容を時間内にプレゼンされていた。

語り継ぐ まちの記憶

広島県
建築士会



- 身近で大切な企画であり、継続してほしい。
- 実際の災害時にも活動されていて、素晴らしい。
- 被災の歴史を伝えることは重要。
- 現段階ではまだ物足りなさがあるが、今後の展開を期待する。

安全で安心な住まいづくりをサポートします。

- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット35 適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査

◆ 住宅かし担保責任保険

住宅保証機構(株) (まもりすまい保険)
 (株)住宅あんしん保証 (あんしん住宅瑕疵保険)
 (株)日本住宅保証検査機構 (JIO わが家の保険)
 (株)ハウスジューメン (ハウスジューメン住宅かし保険)
 ハウスプラス住宅保証(株) (ハウスプラスすまい保険)



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関
株式会社 広島建築住宅センター
 URL: http://www.hkjc.co.jp

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10
 TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
 営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22
 TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974

指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号) 登録建築物調査機関(中国地方整備局長登録第1号)
 認定低炭素住宅 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 住宅省エネラベル

ハウスプラス中国は
**迅速、的確な審査で、皆様の建物の
 安全、安心をサポートします。**

中国エリアをすっぴりカバーしています

中国エリアをすっぴりカバーしています
ハウスプラス中国住宅保証株式会社
 http://www.jutakuhocho.com/

広島本店: 広島市中区国泰寺町 1-3-32 国泰寺ビル 1階
 TEL: 082-545-5607 FAX: 082-545-5608
 広島北支店: 広島市安佐南区西原 6-9-40-7 TEL: 082-832-3310 FAX: 082-875-4330
 福山支店: 福山市西深津町 1-10-1 TEL: 084-973-9143 FAX: 084-973-9146